

「地域を大切に」と言いますが

瑞浪市の総面積の約七割が（ ）です。

右の（ ）に入る言葉は何でしょう。七割だから、森林かな？田畑はよく見かけるけど、総面積の七割ではないよなあ。住宅地ということとは絶対ありえないね。……答えは「北中の校区」です。知っていましたか？瑞浪市の総面積の約七割が北中の校区、残り三割が瑞中と南中の校区です。北中校区がいかにかに広いかわかりますね。日吉町だけとってみても、瑞浪市の総面積の三割を占めています。日吉町は広いですね。その広い土地に二千二百人弱の人たちが暮らしています。（学園台や益見町を含む土岐地区には、六千七百人を超える方たちが暮らしています。）日吉町に行くと、真っ先に気付くのが家と家が離れているということですよ。自然豊かなのかな地区ですが、たくさん魅力があります。

天狗塚、深沢峡、弁天池、松野湖、鬼岩公園、中山道細久手宿、大黒屋、美濃歌舞伎「相生座」、半原文楽操り人形浄瑠璃、天神窯春祭り……これまた、皆さん知っていましたか。お恥ずかしいことですが、長く瑞浪市に住んでいる私は、日吉町のこれらすべてを知っていたわけではありません。北中の校長になってから、知ったものもいくつかあります。

北中が誕生して三年経ちました。土岐地区、明世地区、日吉地区、釜戸地区、そして、大湫地区の五つを校区にもっている北中のこの特徴を改めて考えたいですね。先に書いたように、日吉地区だけとってみても魅力満載です。これが五地区あるのですから、知るべきことはまだまだたくさんあると思いますよ。

本日次年度に向けての生徒会役員選挙立会演説会がありました。その中の一年G・Aさんの演説の中の、「地域ごとの魅力を生かし、地域の輪を広げる取り組み」に私は大賛成です。

「地域を大切に」「地域に感謝」と皆さんはよく言いますが、地域のことを実際にどれくらい知っているのでしょうか。校区が広がった分、知るべきことはたくさんあるはず。それをしないで地域については語れないのではないのでしょうか。

それぞれのある魅力。スポーツや歴史・文化などについて、そこに住む皆さんは知っていますか。まずは自分の住んでいる地区について、あなたが特派員になって発信できることが大切です。G・Iさんは、「各地区の魅力調べて、学びポケットにアップして」と考えています。これまた面白いですね。タブレットももっともって活用の範囲を広げていきたいものです。

地域に対する思いは、北中生の中に宿っています。今後、地域のことをもっともって知れば、その思いももっともって強くなるのではないのでしょうか。「灯台下暗し」にならないようにしましょうね。

（三月十四日 記）

